

札幌市青少年科学館等指定管理者募集要項に関する質問項目

ページ	目次	項目	質問	回答
9	7 利用料金に関する事項	(2)収支計画書における利用料金収入の見積りに当たって必要となる参考数値は、下記のとおりです。 <令和元年度～令和3年度の平均値> ○観覧者数における大人と子ども(中学生以下)の比率 展示 大人 43.5% 子ども 56.5% プラネタリウム 大人 43% 子ども 57% ○観覧料収入における割引・減免の比率 (割引・減免が全くない場合を100とした場合の、実際の観覧料収入の比率) 展示 83%、プラネタリウム 89%	ここで、参考としている令和元年度～令和3年度の実績値に関しては、新型コロナウイルスの影響下の数字であるが、令和5年からの次期指定期間においても新型コロナウイルスの影響を加味し、収支等を積算すべきなのかどうかお示しいただきたい。 また、もし新型コロナウイルスの影響を加味しないと言う事であれば、例えば入館時の人数制限などは特に考慮しなくても構わないか。	次期指定期間(令和5年度～令和9年度)において、新型コロナウイルス感染症に対する対策がどのように変化するかは現時点で不透明であることから、収支計画においては、これらの影響を加味しない金額で積算していただきたい。 また、入場制限においても同様の考え方とする。
10	8 管理運営に要する経費	(1)管理経費の支払いについて	管理費用の金額について、平成30年度～令和4年度までの管理費用と比較して大幅に減額となっている。人件費や光熱水費、物価などの経費は高騰しているが、管理費が下がっている根拠をお示しいただきたい。 管理経費の金額について、展示物リニューアルに伴う各年度の利用料金収入の見込額をお示しいただきたい。	展示物等のリニューアルに伴い、令和4年8月22日から令和6年3月末までの期間が休館となることから、令和5年度は開館時に比べて支出額が減少すること、また、当該リニューアルは科学館の魅力向上に大きく寄与するものと考えていることから、リニューアル後は収入額が増加することが見込まれるため。 また、青少年科学館は非公募施設であるため、その蓄積されたノウハウを活かした創意工夫により、これまで以上に多くの市民の方に来場していただけるような施設運営を期待しているため。 新型コロナウイルス感染症の影響がない平成30年度の利用料収入実績が70,550,990円であることから、各年度において当該金額以上の収入額を見込む。 また、リニューアルに伴う収入額の増加率は、平成25年度に休館を伴う展示物改修を実施していることから、その際の利用料収入の増加額を参考に算出している。

札幌市青少年科学館等管理業務仕様書に関する質問項目

ページ	目次	項目	質問	回答
21	第4 管理業務に付随する業務	(1) 広報業務	館のリニューアルにあたって、リーフレット等の印刷物やwebサイトの全面的な刷新が必要となるが、そういった経費に関しても全て今回の指定管理費に含まれているのかご教授いただきたい。	お見込みのとおり。
24	第5 その他	3 映画などの撮影の申し出を受けた場合について	各種撮影を受け入れるにあたって発生する経費に関しては、その費用を相手方に請求しても構わないかどうかご教授いただきたい。	施設の管理運営を超える範囲の協力を求められた場合は発生する費用の範囲内において請求しても構わない。また、そのような場合は事前に委員会に報告・相談すること。 なお、指定管理者の自主事業として実施する際は、この限りではないが、自主事業の実施については事前に委員会の承認を得ること。
43	別紙4 施設及び設備の保守点検業務の標準	全般	更新予定の設備機器や展示物に係る維持管理業務については、型番、状態、数量が未定なものが複数あるが、既存の機器並みの業務の範囲内と捉えてよろしいか。 万が一、想定業務量やランニングコストを超えることが判明した場合の補填はあるのかどうかお示しいただきたい。	施設設備及び展示物の維持管理業務量については、総体として現行同等の範囲内にあると想定している。 万が一、想定業務量やランニングコストを超えることが判明した場合の補填においては、その態様により補填の可否を協議のうえ、検討を進めることとした。